

# 令和7年度 帖佐中ブロック学力向上アクションプラン

<b>家庭</b>  三二一 各「家庭 学校〇九〇 における運 動」の活用 に関する情 報提供と理 解推進	<b>市共通実践事項の具現化</b>	<b>学習の構えの確立</b>	1 授業前の黙想を徹底する（小学校高学年と中学校）。 2 聴くときは話す人の方に体を向け、しっかり聴く。 3 書くときは机と目の距離を意識し、背筋を伸ばして書く。 4 指名されたら「はい」と返事をする。 5 前日に登校の準備を済ませ、忘れ物をしない。	<b>地域</b>  三二一 地学各 域習学 の支校 材取の ・ラ組 団ン状 体テ況 ・イ等 職アに 場リつ 等のス のの学 習活活 動への 活用 の情報 提供と 理解 推進
	<b>学習環境の整備</b>	1 本時で使うものだけを出す。 2 机の中及びカバン棚を整理する。 3 移動時の教室(机・イス)を整理する。		
	<b>家庭学習の習慣化</b>	1 低学年40分・中学年60分・高学年90分・中学生120分(部活終了後3年は180分)以上に取り組む。 2 テレビやゲーム、スマホ等のスイッチを切り、静かな環境で学習する。(ケータイ・スマホ・ゲーム等午後9時OFF)		
<b>研究テーマ</b>		<b>振り返りで育む自己調整力と書く力の向上</b>		
<b>研究の仮説</b>		児童・生徒が自分の学習過程に能動的にかかわり、見通しを持ち(予見)、活動を行い(遂行)、活動について思いを巡らせる(振り返る)ことを繰り返すことで、粘り強く、主体的に取り組む生徒の育成につながるのではないだろうか。		
<b>研究テーマの具現化</b>	<b>部会</b>	<b>共通実践事項</b> (校種や学年に応じた指導を徹底する。)		
	<b>学習の自立</b>	1 <b>学習環境を整え、学業指導を徹底</b> することにより、学習の心構えを身に付けさせる。 2 <b>見通しを持ち児童・生徒が主体的に取り組む授業</b> をデザインする。 ③ <b>思考・判断・表現を高める授業</b> を実践する。 ・ 論理的な思考・表現(結論・根拠・理由付け) ・ ICT活用 ④ 振り返りにより自己調整力を身に付けさせる。 5 家庭学習の習慣を身に付けさせる。		
	<b>生活の自立</b>	1 <b>元気なあいさつ</b> を実践させる。 2 清掃活動に一生懸命取り組ませる。 3 <b>思いやりの気持ち</b> を育てる(言葉遣い)。 4 <b>規範意識や我慢する力</b> を高めさせる。 (公共施設や学校内外での行動等) 5 学校や地域の行事に積極的に参加させる。		
	<b>健康の自立</b>	① <b>早寝・早起き・朝ご飯・歩いて(自転車)で登下校</b> に取り組ませる(メディアとの関わりを考えさせる。) ※ 就寝の目安 (小) 低9:00 中9:30 高10:00 (中) 11:00 2 <b>交通ルール</b> を守らせる。 3 <b>一校一運動</b> を通し、体力向上に取り組ませる。 4 疾病治療に取り組ませる。		

※ ◎は今年度の最重点課題